

## 「人類を救う夢」の実現に向けた 事業具体化へのご支援をお願い申し上げます

株式会社トリウムテックソリューション (TTS)  
代表取締役社長 古川 雅章

TTSの創業者である初代社長の古川和男は「トリウム溶融塩炉が人類を救う」と言う夢の実現に人生を捧げました。TTSは古川和男の遺志を継いでトリウム溶融塩炉の実現を目指しています。

TTSは、2017年～2018年に掛けて下記の4つの事業を行います。

### ①カザフスタン試験用原子炉を使った溶融塩の照射試験の実施 (2018年春目標)

TTS独自考案のミニチュア原子炉「RinR」を使うことにより、世界で初めて既存原子炉での実用的な溶融塩の照射を可能にし、溶融塩照射試験方法の世界標準化と世界からの溶融塩照射試験の受託事業への展開を目指します。

### ②プルトニウム燃焼・消滅実験の実施 (2018年実施目標)

世界初の、既存原子炉によるプルトニウム溶解溶融塩の中性子照射によるプルトニウム燃焼・消滅実験を行います。

### ③宇宙機用超小型トリウム炉のモックアップ試作 (2018年目標)

世界初の宇宙機用超小型トリウム炉の開発に着手します (JAXAとの提携を予定)

### ④高野山溶融塩炉国際サミットの開催 (2018年秋開催目標)

世界の溶融塩炉開発を目指す事業体が協力して溶融塩炉実現を目指す国際サミットを高野山で開催することを目標に高野山に働きかけています。

これらの事業は、すべてTTSが世界で初めて取り組む事業です。

特に2018年に実施予定のプルトニウム燃焼実験は、「核兵器完全廃絶への道」への第一歩で、これに成功することによりTTSは世界から認められ、外部からの資金調達も容易になりTTSは本格浮上すると考えています。

カザフスタン照射実験は入念な準備作業の下に進めており、成功させる自信があります。

カザフスタン照射実験の費用として45百万円が必要です。内10百万円は調達済みですが、残りの35百万円を調達する必要があります。

この資金は、TTSが今まで行ってきた資金調達の方法であるTTSの株主の皆様、株主の縁故者、TTSの関係者に出資をお願いする方法により調達したいと考えています。

改めて、資金調達への御協力をお願い申し上げます。

## 資金計画

カザフスタン照射実験費（残金）	35百万円
TTS運営費 2百万円/月×12ヶ月＝	24百万円
新規事業推進費	20百万円
<hr/>	
合計	79百万円

## 資金調達計画

今後の事業展開も考慮して、増資による資金調達を行います。

### 1. 増資による資金調達

1. 一口 百万円 1株1000円×1000株  
増資限度額 2億円

現在のTTSの資本金 9680万円  
発行済株数 67万9500株

### 2. 期間

平成29年6月15日（木）～平成29年10月31日（火）

### 3. 増資応募を呼びかける方

TTS出資者及びTTS出資者の知人及びTTS関係者

なお、本件に関してのお問い合わせは下記にお願いします。

古川雅章メール [mfuruka@qd5.sonet.ne.jp](mailto:mfuruka@qd5.sonet.ne.jp)  
電話 042-736-6960

